

知識の花弁

三田メディアセンターだより

No.12
2018夏



撮影：新 良太

データベースで 論文を探そう

貴重書紹介：反町文書

「文明二年六月十六日足利義政御判御教書」

「九月廿二日高倉永慶書状と巳九月廿二日板倉勝重女手形」

コレクションの広場

時代を越えた子どもの本との出会い

—児童書コレクション—

図書館の舞台ウラ

相互協力 (ILL) 担当の一日

主な出来事 (2018.4-2018.8)

お知らせ



慶應義塾大学 三田メディアセンター

データベースで論文を探そう!

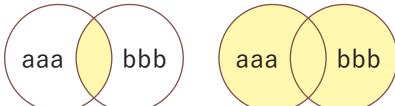
先生から雑誌に掲載された論文を探すようにアドバイス
雑誌論文を探すのに便利な論文検索データベースの

1 トップ画面

CiNii Articles

Point

探したいテーマに関するキーワードで検索します。ANDやORを用いるとよりよい検索式ができます(下図参照)。



aaa AND bbbで検索できる範囲
aaa OR bbbで検索できる範囲
(ANDの代わりに半角スペースでも可)

例 「自我作古」や「独立自尊」と教育の関わりに関する文献を探したい場合
→ (自我作古 OR 独立自尊) AND 教育

論文情報全体の検索はここにキーワードを入力



2 検索結果画面

検索結果を発行年順などで並び替えられます。

検索結果が多すぎる場合はキーワードを変えて再検索をしてみましょう。

Point

論文の掲載情報(掲載雑誌名・巻号頁・発行年)は重要です! この例では、財界という雑誌の65巻24号の24-27ページに掲載された論文であることを示しています。掲載情報は、KOSMOSで雑誌の所蔵を調べる場合や、書架で雑誌を探すときに必要になるのでメモしておきましょう。



電子ジャーナルのリンクを押してみましょう。パソコン上で論文そのものを閲覧・保存できる場合があります。

データベースナビ

論文・新聞・統計・判例等を探すための多種多様なデータベースを見つけられます。図書館ウェブサイトからアクセスできます。



※同時利用数に制限があるデータベースは、利用終了時には必ず「ログアウト」ボタンを押してください。

CiNii Articlesは、無料で公開されているデータベースです。慶應義塾が契約するデータベースや電子ジャーナルのご利用は、ITCアカウント、慶應IDをお持ちの方が対象です。アカウントの申請方法やkeiobile2の設定方法は三田ITCにお尋ねください。

されたことはありませんか？

しくみを国内最大規模のCiNii Articlesを例に紹介し、文献の入手方法を案内します。

3 雑誌がどこにあるかを調べる

電子ジャーナルがなくても、図書館で雑誌を所蔵している場合もあります。論文が掲載された「財界 (掲載雑誌名)」からKOSMOSを確認しましょう。



クリック



所蔵一覧 --- 戻る

財界 / 財界研究所
東京：財界研究所, 1953- 冊；26 cm.

地区 三田 | 3階和雑誌
所蔵範囲 47(1-22,24-26)<1999>,48-64,65(1-21)<2017> +

出版年： 巻号： 地区： 貸出中を隠す

資料区分	状態	発行年	地区	配架場所
貸出不可	在架	v.66: no.10(1648)(2018.05.15)	三田	3階新着雑誌
貸出不可	在架	v.65: no.10(1630)(2017.01.02)	三田	3階新着雑誌
貸出不可	在架	v.65: no.20-24(1634-1638)(2017.10-12)	三田	3階和雑誌
貸出不可	在架	v.65: no.14-19(1628-1633)(2017.07-09)	三田	3階和雑誌

発行後約1年たった雑誌は、複数冊がまとめて製本されます。KOSMOSでは製本したまとまりが1冊として表示されます。(左の論文が掲載された65巻24号は、20巻～23巻とまとめて製本され、下のように表示されます。)

4 書架に行く

配架場所を確認できたら、書架(本棚)で論文を探しましょう。

新着雑誌



製本雑誌

書架には同名の雑誌が複数号保存されています。論文の掲載箇所を見つけるために、2でメモした掲載情報が役立ちます。

雑誌探しのお助けツール



書架や階段付近にある案内板は、雑誌の配架場所を探す手助けとなります。雑誌は貸出できませんが、著作権法の範囲内で各階にあるコピー機で複写できます。

素朴なギモン Q&A

Q KOSMOSと論文検索データベースの違いは？

A 調べられる情報が違います(下図参照)。



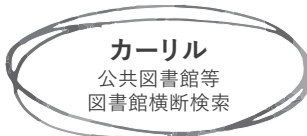
KOSMOSの検索範囲

データベースの検索範囲

現在は、KOSMOS・論文検索データベース間でリンクが付き、文献検索と所蔵検索を継ぎ目なく行えるケースも増えています。

Q 三田メディアセンターにはどんな資料でもあるの？

A 教育・研究・学習に関する資料を中心に所蔵しています。実用書や小説、エッセイなどを利用したい場合は、お近くの公共図書館を活用してください。下は公共図書館の検索システムの一例です。





貴重書紹介

「反町文書」のうち

文明二年六月十六日足利義政御判御教書

(130X@8@1)

ごはんのみぎょうしよ



中島 圭一 (文学部 教授)

8代将軍足利義政が料紙の袖(右端)に花押を据えた室町幕府の公文書で、讓状(遺言書)に基づいて「加賀守種基遺跡・同本新所領等」を齋藤道祖松法師に安堵したもの。齋藤種基は宝徳元年(1449)から文明元年(1469)にかけて所見のある室町幕府の奉行人(実務官僚)で、文明元年か翌年初めに死去したとすれば、元服前の嫡子と思しい道祖松法師の家督・所領相続を承認する本文書の内容と符節が合う。加賀守を官途とした奉行人齋藤氏には、他に応永19~26年(1412-19)に活動が確認される基喜、応永33~宝徳3年(1426-1451)の基貞、文明17~天文3年(1485-1534)の基聰もとときがおり、また明応2年(1493)12月20日付で齋藤基聰もとときに「曾祖父加賀守基喜いらい已来知行」の地を安堵した幕府奉行人奉書が存在するので(「田中光治氏所蔵文書」)、基喜—基貞—種基—基聰という系譜を復元することができる。したがって、道祖松法師は後の基聰である可能性が高い。

「反町文書」は1952年に塾員反町十郎から慶應義塾に寄贈されたコレクションで、戦前に同志社大学などで国史学の教授を務めた木島誠三このしまによって蒐集された中近世の古文書160点余りからなる。そのうち本文書は、昨年秋の貴重書展示会「古文書コレクションの源流探検—反町十郎、反町茂雄、木島誠三、木島櫻谷、そして…」に出陳した4点の文書とともに、

1921年に東京帝国大学史料編纂掛によって岐阜県武儀郡美濃町の「阿部敏雄氏所蔵文書」として影写されたほか、19世紀前半に尾張藩の国学者中尾義稲よしねが編纂した「尾張文書通覧」一之巻にも「愛智郡部林茂蔭家藏四十通」のうちの一通として写されている。さらに17世紀の古筆鑑定家初代朝倉茂入の極札や木島誠三の箱書きも付属しているので、近世初頭までに何処かの蒐集家の手に入り、江戸末期の尾張国愛智郡の林茂蔭、大正期の岐阜県武儀郡美濃町の阿部敏雄、昭和初めの京都の木島誠三、そして反町十郎から慶應義塾へと所蔵者を変えていった経緯が確かめられる。蒐集文書でここまで詳しく伝来経路が判明するものは珍しい。



「反町文書」を図書館で展示します！

信長・秀吉など著名武将の文書が満載の「反町文書」(港区指定文化財)を展示します。当コレクションは卒業生(塾員)反町十郎氏から寄贈された鎌倉—江戸時代にわたる約160点の古文書です。2017年に丸善丸の内本店で開催した慶應義塾図書館貴重書展示会では、反町文書から約60点を出品しました。通常、図書館の展示はテーマを元に展示する本を選びますが、時代も分野も幅広い反町文書は「コレクター目線」で形成された蒐集文書という性格を生かし、コレクション形成過程や源流を探る内容となりました。今回、図書館の展示室では貴重書展示会のダイジェスト版をご覧に入れます。

「反町文書」のうち

九月廿二日高倉永慶書状と巳九月廿二日板倉勝重女手形

(130X@114@1)



上野 大輔 (文学部 准教授)

写真の下側は、京都所司代の板倉勝重に宛てた高倉永慶の書状である。近頃難しい事情があるので、自分のもとにいる女性8人を（9月）27日に秋田へ下向させたいとして、手形の発行を頼み入っている。上側は、これを受けて同日付で勝重が発行した女手形である。京都から秋田までの女改奉行衆に宛てて、女性を間違いなく通過させるようにと述べ、「巳」という干支で年次を明記している。女性ら一行は、途中の関所でこの手形を示すと通過できた。書き出しの上部に勝重の割印があることから、これに対応する史料が彼の側にあり、発行状況が把握されたことも窺える。

この女手形は永慶が書状を認めた折紙の見返し（反対側）を用いたものだが、軸装に際して折り目が裁断され、勝重の女手形を上にして文面の向きが揃えられたため、写真のようにになっている。

両文書の年代だが、永慶の署名が「藤（藤原）右衛門佐」となっているので、慶長11年（1606）正月から寛永元年（1624）11月までの間と分かる。この期間中の巳年は元和3年（1617）のみなので、年次が特定できる。なお、勝重は「伊賀守」と記されているが、その在任期は慶長8年から元和9年までであり、また彼が所司代を務めたのは慶長6年から

元和6年までであるため、いずれも元和3年と齟齬しない。

永慶の正室は秋田藩主佐竹義宣の妹であり、佐竹氏を頼って女性を秋田へ向かわせたのかもしれない。当時は京都でも女性や子供の人身売買が問題となる中、勝重の手形のない女性を通過させるはならないとされていた（『朽木家古文書』512・758、『朽木家文書』130）。このような情勢下で両文書は作成されたが、女手形は現存する最初期のものである。その伝来の経緯は未詳だが、掛軸の題箋に「小室惣兵衛 献之」とあり、木島誠三所蔵段階よりも前の状況を考える手がかりとなる。



古文書コレクションの源流探検 ―反町十郎、反町茂雄、木島誠三、木島櫻谷、そして…

(慶應義塾図書館貴重書展示会ダイジェスト)

期間：2018年8月20日（月）～9月8日（土）

場所：図書館1階展示室 日曜休館、平日は18：20、土曜日は16：50まで

ギャラリートーク：8月20日（月）・22日（水） 17：30～18：15

新規展示の史料も一部あり、既に丸善で展示をご覧になった方もお楽しみいただけます。会期中には貴重書展示会の監修をされた中島先生・上野先生によるギャラリートークを予定しています。日本史ファンも初心者の方も是非ご来場ください！



時代を越えた子どもの本との出会い

— 児童書コレクション —



汐崎 順子

(文学部 非常勤講師)

『星の王子さま』、『エルマーのぼうけん』、『ちびくろさんぼ』、『ぐりとぐら』、『ちいさなうさこちゃん』…下の古めかしい本の写真に、子ども時代の楽しい読書の記憶を引き出された人がたくさんいるでしょう。1950年代から1960年代に出版され、多くの子どもに愛され、読み継がれてきた児童書たちです。



読み継がれてきた児童書たち

三田メディアセンターには4,000冊を超える児童書のコレクションがあることをご存知でしょうか？慶應に日本図書館学校が設置されて以来、さまざまな経緯を経て収集、利用されてきたもので、現在は研究室棟の地下書庫にまとまった形で置かれています。

日本図書館学校 (Japan Library School) は1951年に米国の援助を受け、図書館学の研究教育を目的として文学部内に開設されました。当初はロバート・ギトラー博士をはじめ、米国の教員による先進的な授業が行われました。児童サービス関係の初代担当教授だったハナ・ハント女史は、教材用に多くの児童資料を収集し、米国で最も権威のあるニューベリー賞 (児童文学)、コールデコット賞 (絵本) の受賞作など、当時の日本ではほとんど知られていなかった名作が書架に並びました。

学生はそれらを自由に手に取って読むことができたのです。慶應で教鞭をとった後、児童文学作家、翻訳者として日本の子どもの本の世界を豊かに広げた渡辺茂男氏 (1928~2006) は第1期生です。学生時代にはきっと、目の前に並ぶ児童書に多くの刺激を受け、心躍らせてページをめくったことでしょう。

1冊の絵本『The Steadfast Tin Soldier』(アンデルセン作、マーシャ・ブラウン絵) に、メイベル・ターナー女史 (ハナ・ハントの後々任) の寄贈サインを見つけました。1954年のコールデコット賞候補作で、1953年の初版本です (寄贈年も1953年)。児童書は消耗度が激しく、図書館でよく読まれる本、長く読み継がれている本ほど頻繁に買い替えられます。このような古い絵本の初版を所蔵している図書館は

米国でも多くはないでしょう。

洋書関係でもう一つ興味深いのは、一部の本に残る数種類の蔵書印です。タイトルページに「SCAP CIE INFORMATION CENTER TOKYO」、「AMERICAN CULTURAL CENTER アメリカ文化センター」、「慶應義塾大学文学部図書館学科蔵書」という3つの機関の蔵書印と「WITHDRAWN」(廃棄印)が押されています(写真の右上と下)。

メイベル・ターナー女史のサイン



寄贈サインと数種類の蔵書印

連合国軍最高司令部 (GHQ/SCAP) の民間情報教育局 (CIE) は、1945年から主要23都市にCIE図書館を設置して米国の先進的な図書館サービスを具体的に示しました。小規模ながら児童書もあり、児童サービスが行われました。CIE図書館は後にアメリカ文化センターに移行しますが、前述の資料はCIE図書館からアメリカ文化センターに引き継がれた児童書が廃棄された後、慶應に寄贈されたものです。

戦後の日本で、近代的な児童書出版の先駆的な役割を果たしたのは、岩波書店と福音館書店です。岩波書店から「岩波少年文庫」(1950～)、「岩波の子どもの本」(1953～)、福音館書店から「こどものとも」(1956～)、「世界傑作絵本」(1961～)として出版された作品の多くは、現在もたくさんの読者を持つロングセラーです。慶應はこの2社の草創期当時の児童書を数多く所蔵しています。

時代を越えて読み継がれている児童書は、同一作品として出版されていても、刷を重ねる間に装丁や色合いが変化したり、内容に修正が加えられたりすることがよくあります。汚破損のあるものは買い替え、良い状態で子どもに提供することを第一義とする公立図書館では、初版の出版から50年以上が経つ児童書の初期の現物を保存していることは減多にありません。しかし慶應は出版初期の資料を収集、保存しているため、当時の装丁や内容などを確かめることができます。もちろん現在絶版で入手できない資料もたくさんあります。

今年の5月2日に絵本作家のかこさとしさんが亡くなりました。『からすのパンやさん』や『だるまちゃんとてんぐちゃん』が有名ですが、デビュー作は『だむのおじさんたち』(「こどものとも」、1959)です。慶應には「こどものとも」の復刻版と、ハードカバー版(「こどものとも傑作集」、1967)があります。1926年に生まれ、東京大学工学部を卒業後、セツルメント運動をしながら子どもの本の世界に入っていったかこさん。ダムの現場で働く人々の姿を描いたこの作品からは、絵本作家としての原点を感じることができるでしょう。



2種類の『だむのおじさんたち』

時代を越えて愛されてきた本、子どもの時に好きだった本をゆっくりと読んでみてはいかがでしょうか? 開架書庫にはありませんが、利用は可能です。経年劣化が進んでいる資料も多いので取り扱いには十分ご注意を!



図書館の舞台ウラ

相互協力 (ILL) 担当の一日

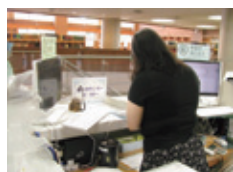
ILLはInterLibrary Loanの略です。他の図書館と協力して、図書借用や複写物の提供の手配をします。1件の取寄でも、調査、依頼、到着、引渡し、相手館への支払いなど沢山の工程があり、手配が完了するまでに何日もかかります。細切れに工程が進む三田からの依頼処理と他の図書館からの申込みの処理の両方を、遅れが無いように進めるために、5人の担当スタッフで当番を決めて分担し、一日の中で様々な作業をこなしていきます。

某月某日(水)



8時30分始業。一日の始まりです。

今日の金庫当番のNさんが、前日に受け取った金額と伝票を照合し総務へ入金します。このお金は売上?ではありません。相手館への支払いや、借りた図書の返送料金として使います。



カウンターではYさんが、夜間に申込まれた学内図書取寄の処理をしています。蔵書の大半は蔵書検索システムKOSMOSのMy Library機能を使って直接依頼ができますが、一部の資料は窓口かオンラインで申込まれます。

事務室内ではIさんが、夜間に申込まれた文献複写取寄の申込書を印刷しています。夜の方が調べものや研究がはかどる学生や先生も多いみたいですね。

ILL業務には、Habilという業務システムを使います。所属の確認、書誌事項確認をしてから、所蔵館を調べて依頼します。今日は水曜日で、打ち合わせやILL担当のミーティングはありませんが、夕方が忙しいのがわかっているので、午前中に頑張って仕事を進めます。



10時近くになると今日の遅番のOさんが出勤してきました。昼の当番に入る前に、図書取寄の申込書を印刷して調査と依頼を始めます。依頼は図書館に直接ではなく、全国の大学図書館などが参加する共同のシステムを主に利用します。海外の図書館にも依頼します。



Hさんは、他の図書館からの申込みを受け付ける当番です。申込まれた蔵書がどこに配架されているかKOSMOSで確認します。三田キャンパスには開架の図書館が3か所、閉架の書庫が3か所もあるので1日2回、決まった時間に出納に行きます。



11時30分から1時間が職員の昼休み時間です。遅番のOさんがILLカウンターに残ります。ILLカウンターでは、図書や複写物の引渡し、学内資料の取寄の受付をします。



作業件数として多いのは、通称「再貸出」。学生の返却期限の更新は2回まで。続けて利用したい時は、他の予約者がいなければ新たに貸出処理をします。が、他の地区から取り寄せた図書は、そのまま貸出処理ができません。(図書館システムのいじわる?) 貸出カウンターからILLカウンターに場所を移して、図書館システムのデータ上で図書の取寄をやり直してから貸出処理をします。



12時15分から13時までは、授業も昼休みになり、学生がILLカウンターに続々とやってきます。カウンターには、9時30分から18時30分まで交替で入ります。



打合せとかで席をはずす時は、ボタンを押すと事務室でピンポンと鳴るベルを置いています。コンビニみたいな音が鳴ると、事務室からカウンターまで10メートルくらい小走りで駆けつけます。



午後も、三田から他図書館への依頼処理と、他の図書館からの申込みの対応が続きます。利用者からの申込書をチェックしていると、2割前後は、他の図書館に依頼せずに済むものがあります。実は三田に所蔵があった、契約電子ジャーナルで自由に読める、刊行元の学会や大学でインターネット公開されているなど理由は様々です。三田で所蔵していない小説、エッセイ、実用書などは、港区の図書館を紹介することもあります。



利用者の申込み内容は、ILL担当で確認しますが、いろいろ調べてもわからない場合もあります。そんな時は、「掲載頁が不明で申し訳ございませんが、どうぞよろしく願いいたします。」といったコメントを添えて依頼します。



13時過ぎには、学外に依頼していた図書や複写物が届きます。届いた複写物を開封して中身を確認。Habilを使って、到着処理、領収書の作成、到着連絡などを行います。準備のできた複写物は、申込み者名の50音順にカウンターのキャビネにしまします。

図書の到着処理は別の人が担当します。貸していただいた大切な蔵書です。当館で用意したクッション封筒に入れ替えて、表のポケットには利用期限、取り扱いの注意事項などを記入した連絡票を差し込みます。



学外図書館からの取寄図書は、利用の有無を確認しています。利用期限が近づいても利用していない図書があったら利用者に連絡します。期間内に利用が終了するように気をつけています。



15時過ぎに、水曜日のメインイベント？早稲田からのILL便が到着します。早稲田の図書館とは提携を結んでいて、来館利用の他に、週に2便運送車が行き来します。郵送料をかけずに図書の貸借や複写物の送付ができます。慶應と早稲田ともに蔵書は多いのですが、それでも自館になく利用したい資料が沢山あるので、早稲田から借りる図書は年間400冊前後、複写物の取寄も500件以上あります。



16時30分から18時30分までは、遅番Oさんがカウンターに入ります。時間割は4限の終了が16時15分、5限は18時。16時過ぎ頃から、ILLカウンターへ受け取りに来る人も多くなります。夕方以降は、取り寄せた図書をじっくり利用できる時間のようです。



授業がある月-金は、三田メディアセンターは22時まで開館していますが、ILL担当のスタッフは18時30分までの勤務となります。

5限が終わってから立ち寄る学生や先生の対応が終わった頃、ILLカウンターを夜間のスタッフにお願いし、事務室の片付けをして帰宅します。



2018年 日・EUフレンドシップウィーク
「福澤諭吉、ヨーロッパへゆく：安政五か国条約と
文久遣欧使節団」開催 (3/19-5/31)

今年は「安政五か国条約」が安政5（1858）年に結ばれてからちょうど160周年にあたります。この条約に関する交渉のために文久2年にヨーロッパに派遣された「文久遣欧使節」およびこのとき随行した福澤諭吉に焦点を当て、彼らが見た当時のヨーロッパ、さらにはヨーロッパから見た日本の姿を紹介しました。

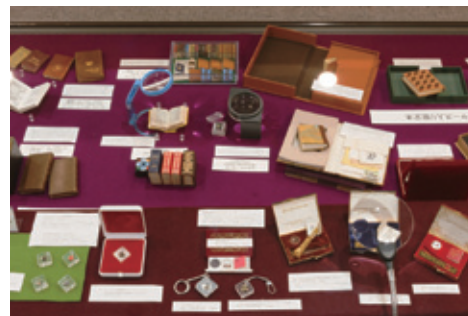
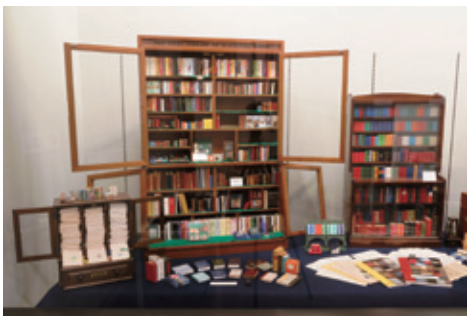
またパネル展示と並行して、EUのエコバッグやピンバッジなどのオリジナルグッズが当たるEUクイズも行い、72名の方にご参加いただきました。



図書館展示室：2つの企画展示を開催

「ミニチュア・ブックの世界 —「いと小さきもの」と語り合う悦楽—」(3/19-5/19)

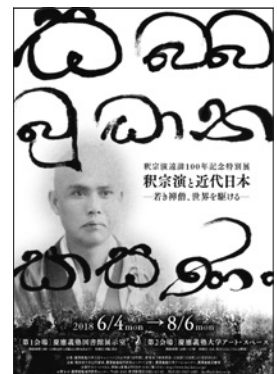
井関利明名誉教授から寄贈されたコレクション、世界各国の多種多様なミニチュアブックを展示しました。小さな家具や特別に作られた専用の書架、わずか数ミリの本を見せるためにルーペも駆使した展示は、ファンを釘付けにしました。ギャラリートークでは井関先生からメディア史を振り返る壮大なお話を伺うことができました。



「釈宗演と近代日本 —若き禅僧、世界を駆ける—」

(6/4-8/6 主催：臨濟宗大本山円覚寺、慶應義塾福澤研究センターほか)

初めて世界にZEN（坐禅）を紹介した福澤門下生の禅僧・釈宗演の生涯をたどる展示で、100回忌を記念して開催されました。新発見を含む約100点の資料が公開されたほか、特別対談、坐禅ワークショップ、ギャラリートークなど、関連イベントも盛りだくさんで、多くの参加者で賑わいました。



お知らせ

『高橋箒庵文庫茶道関係資料目録』(文献シリーズNo.34) 刊行

高橋義雄(号:箒庵, 1861-1937)は福澤諭吉の門下生で、実業家・茶道家として活躍しました。主に茶道と水戸学に関する箒庵の旧蔵書「高橋箒庵文庫」(約1,000点)のうち、本目録には茶道関係資料465点・カラー図版24点を収録しています。刊行にあたっては慶應茶道会の同窓会である三田福茶会にも多大なご協力をいただきました。箒庵の茶道関連資料は塾内外の研究者に非常によく使われます。購入は図書館新館メインカウンターにて、もしくは図書館ウェブサイト刊行物購入フォームよりお申込みください。(1部1,000円)



第30回 慶應義塾図書館貴重書展示会
「インキュナブラの時代 —慶應義塾の西洋初期印刷本コレクションとその広がり」

記念すべき第30回を迎える今年のテーマは、インキュナブラ。

インキュナブラとは、15世紀にヨーロッパで生まれた活字による初期印刷本です。

2018年は、その発明者グーテンベルクの没後550年に当たります。

この展示会では、当時の印刷技術の粋を尽くした活版印刷本の美しさと、そこから広がる疑問と謎解きの世界を間近で見ることが出来ます。監修者の文学部安形麻理准教授によるギャラリートークや、講演会など関連イベントも盛りだくさん！



安形 麻理
(文学部 准教授)

詳しくは、図書館ウェブサイトをご覧ください。

会期：10/3(水) - 10/9(火) [入場無料]
会場：丸善 丸の内本店4階ギャラリー
ギャラリートーク：10/5(金)、10/8(月・祝)
講演会：10/6(土)、10/7(日)



展示資料のひとつ
プラタルコス『英雄伝』

第30回慶應義塾図書館貴重書展示会
AGE OF INCUNABULA
インキュナブラの時代
慶應義塾の西洋初期印刷本コレクションとその広がり
活字による15世紀の西洋初期印刷本をインキュナブラと呼びます。様々な変化と工夫を経て、現代の本のルーツとなりました。なぜ「印刷革命」と呼ばれ、今に至る影響力があるのでしょうか。当時の技術の粋を尽くした活版印刷本の美と、そこから広がる疑問と謎解きの世界をお楽しみください。
慶應義塾図書館 丸善雄松堂

編集後記

夏号は初めてのため張り切って原稿を集めたら、夏から秋にかけてのお知らせ記事が多く、盛りだくさんで調整が必要となりました。次回、秋号は11月末頃を予定しています。ターゲットとする読者は誰なのか。手にとった学部生に次号も読んでもらいたい、愛読者の期待にもっと応えたい…。学生にもっと図書館を使ってもらうためにどんな仕掛けをしようか、大学院生や先生の利用が多い資料が収録されたデータベースを入れたい…。編集の悩みと図書館サービス展開の検討、似ている様な気がします。

編集・発行 慶應義塾大学 三田メディアセンター
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL 03-5427-1625
FAX 03-5484-7780

発行日 2018年8月10日
印刷 有限会社 梅沢印刷所

<http://www.mita.lib.keio.ac.jp>
Twitter: @Keio_MitaLib

バックナンバーはこちらから ⇨

